



## 2022年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年12月9日

上場会社名 スバル興業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9632 URL <https://subaru-kougyou.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 永田 泉治  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 松丸 光成 (TEL) (03) 3213-2861  
 四半期報告書提出予定日 2021年12月15日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年1月期第3四半期の連結業績（2021年2月1日～2021年10月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年1月期第3四半期	20,324	△1.0	2,972	△10.5	3,164	△6.6	2,188	2.3
2021年1月期第3四半期	20,527	3.3	3,320	0.8	3,386	1.7	2,139	△19.5

(注) 包括利益 2022年1月期第3四半期 2,191百万円 (2.6%) 2021年1月期第3四半期 2,134百万円 (△19.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年1月期第3四半期	851.49	—
2021年1月期第3四半期	832.62	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年1月期第3四半期	33,190	27,883	83.7
2021年1月期	31,819	26,542	83.1

(参考) 自己資本 2022年1月期第3四半期 27,792百万円 2021年1月期 26,454百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年1月期	—	100.00	—	240.00	340.00
2022年1月期	—	100.00	—	—	—
2022年1月期（予想）	—	—	—	260.00	360.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

※期末配当金の内訳 2021年1月期 普通配当100円 特別配当 90円 記念配当50円

2022年1月期（予想）普通配当100円 特別配当160円

詳細は、本日付で別途公表いたしました「2022年1月期（第108期）配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 2022年1月期の連結業績予想（2021年2月1日～2022年1月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,800	1.2	4,000	△1.2	4,040	△2.0	2,640	0.2	1,027.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社 （社名） 、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年1月期3Q	2,662,000株	2021年1月期	2,662,000株
② 期末自己株式数	2022年1月期3Q	89,815株	2021年1月期	92,792株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年1月期3Q	2,570,361株	2021年1月期3Q	2,569,567株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（業績予想の適切な利用に関する説明）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、添付資料2ページ「（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が促進されるなか、各種政策の効果や海外経済の改善もあり、一部で持ち直しの動きが続いているものの、国内外の感染症の動向に引き続き注視が必要であり、景気の先行きは不透明な状況で推移しました。

このような情勢のもと、当社グループは、3カ年計画『中期経営戦略2019-2022 TRY! 2022』の最終年度にあたり、新型コロナウイルス感染予防策を徹底したうえで、目標達成に向け、各事業において業績の向上に努めました結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は203億2千4百万円（前年同期比1.0%減）、営業利益は29億7千2百万円（前年同期比10.5%減）、経常利益は31億6千4百万円（前年同期比6.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は21億8千8百万円（前年同期比2.3%増）となりました。

以下、セグメント別の概況をご報告申し上げます。

#### (道路関連事業)

道路関連事業は、引き続き政府による防災・減災、国土強靱化対策をはじめとする関連予算の執行により、維持・補修分野における公共投資が底堅く推移しましたが、業界における人手不足や、労務費・資機材価格の上昇傾向が継続する等、依然として予断を許さない状況が続きました。当社グループは、安全管理の徹底を図り、安定した施工体制の堅持に努めると共に、積算精度の向上や総合評価方式への対応強化により、積極的な受注活動に努めましたが、売上高は182億6百万円（前年同期比1.7%減）、セグメント利益は30億6千4百万円（前年同期比11.4%減）となりました。

#### (レジャー事業)

飲食部門は、政府・自治体からの各種要請に伴う営業時間の短縮や外出自粛傾向の長期化により、事業環境は極めて厳しい状況で推移しました。当社グループは、飲食店においてテイクアウトやデリバリー販売、SNSを通じた最新情報の発信等により集客に努め、また物品販売においてエナジードリンクの販売が好調に推移したことにより、売上高は前年同期を上回りました。

マリナー部門は、『東京夢の島マリナー』『浦安マリナー』の両マリナーにおける年間契約の船舶係留数は引き続き高水準で推移したことに加え、施設利用者数に回復の兆しが見られ、船舶用燃料の販売が増加したこと等により、売上高は前年同期を上回りました。

以上の結果、レジャー事業全体の売上高は15億4千8百万円（前年同期比4.5%増）、セグメント利益は6千7百万円（前年同期比57.8%増）となりました。

#### (不動産事業)

不動産事業は、『吉祥寺スバルビル』や『新木場倉庫』等の賃貸物件が概ね堅調に稼働し、前期に取得した賃貸物件が寄与したこともあり、売上高は5億6千9百万円（前年同期比8.4%増）、セグメント利益は3億6千4百万円（前年同期比13.1%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形及び売掛金の減少等がありましたが、現金及び預金の増加等により前連結会計年度末に比べ13億7千万円増の331億9千万円となりました。

負債は、未払法人税等の減少等がありましたが、賞与引当金の増加等により前連結会計年度末に比べ2千9百万円増の53億7百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加等により前連結会計年度末に比べ13億4千万円増の278億8千3百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年1月期通期の連結業績予想につきましては、2021年3月11日に公表いたしました予想から変更はありません。なお、新型コロナウイルス感染症により、レジャー事業の業績への影響が生じておりますが、現時点においては、主力の道路事業における道路の維持管理業務の需要が継続されており、通期業績が大きく下振れすることはないと考えております。今後、公表すべき事実が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,387,569	13,033,384
受取手形及び売掛金	6,124,051	4,673,656
商品	54,470	60,100
未成工事支出金	1,041,152	965,193
原材料及び貯蔵品	142,885	131,608
短期貸付金	1,000	—
その他	70,663	195,197
貸倒引当金	△30,882	△28,985
流動資産合計	17,790,911	19,030,155
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,244,728	2,370,711
機械装置及び運搬具（純額）	1,437,787	1,398,803
土地	7,673,525	7,776,161
建設仮勘定	25,000	15,400
その他（純額）	123,149	120,969
有形固定資産合計	11,504,191	11,682,046
無形固定資産		
のれん	480,053	424,662
その他	60,104	51,300
無形固定資産合計	540,157	475,963
投資その他の資産		
投資有価証券	294,182	272,480
繰延税金資産	268,521	345,010
差入保証金	788,315	774,099
保険積立金	496,484	503,618
その他	352,771	108,653
貸倒引当金	△215,570	△1,333
投資その他の資産合計	1,984,705	2,002,528
固定資産合計	14,029,054	14,160,538
資産合計	31,819,965	33,190,693

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年10月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,670,046	1,735,258
未払法人税等	719,528	390,364
賞与引当金	133,946	346,263
役員賞与引当金	23,400	—
資産除去債務	2,200	19,000
その他	1,739,951	1,823,260
流動負債合計	4,289,072	4,314,146
固定負債		
繰延税金負債	4,022	414
退職給付に係る負債	273,129	287,449
資産除去債務	234,271	249,527
その他	477,343	456,127
固定負債合計	988,766	993,519
負債合計	5,277,839	5,307,665
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,331,000	1,331,000
資本剰余金	1,273,811	1,288,055
利益剰余金	24,203,694	25,518,488
自己株式	△354,786	△345,206
株主資本合計	26,453,718	27,792,336
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	372	66
その他の包括利益累計額合計	372	66
非支配株主持分	88,035	90,624
純資産合計	26,542,125	27,883,027
負債純資産合計	31,819,965	33,190,693

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年2月1日 至 2021年10月31日)
売上高	20,527,429	20,324,087
営業費用	15,978,735	16,111,758
売上総利益	4,548,694	4,212,328
一般管理費	1,227,705	1,239,692
営業利益	3,320,989	2,972,636
営業外収益		
受取利息	757	455
受取配当金	5,301	6,386
貸倒引当金戻入額	—	34,779
受取保険金	13,581	11,232
助成金収入	15,683	113,340
受取補償金	11,572	1,150
その他	22,534	26,212
営業外収益合計	69,431	193,557
営業外費用		
その他	4,216	2,023
営業外費用合計	4,216	2,023
経常利益	3,386,204	3,164,170
特別利益		
投資有価証券売却益	—	5,500
保険解約返戻金	52,089	467
特別利益合計	52,089	5,967
特別損失		
減損損失	321,160	—
特別損失合計	321,160	—
税金等調整前四半期純利益	3,117,132	3,170,137
法人税、住民税及び事業税	1,139,130	1,058,792
法人税等調整額	△162,555	△79,961
法人税等合計	976,574	978,831
四半期純利益	2,140,558	2,191,306
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,082	2,668
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,139,476	2,188,637

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年2月1日 至 2021年10月31日)
四半期純利益	2,140,558	2,191,306
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,956	△305
その他の包括利益合計	△5,956	△305
四半期包括利益	2,134,601	2,191,000
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,133,519	2,188,331
非支配株主に係る四半期包括利益	1,082	2,668

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自2020年2月1日至2020年10月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	道路関連事業	レジャー事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	18,520,315	1,481,986	525,127	20,527,429	—	20,527,429
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	397,387	39,155	436,543	△436,543	—
計	18,520,315	1,879,374	564,282	20,963,973	△436,543	20,527,429
セグメント利益	3,456,325	42,609	322,222	3,821,157	△500,168	3,320,989

(注) 1 セグメント利益の調整額△500,168千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「道路関連事業」及び「レジャー事業」セグメントにおいて、当社が運営する飲食店の一部及び連結子会社が運営する有料道路等の売店の一部において、新型コロナウイルス感染者数の再拡大等に伴い、想定していた収益が見込まれなくなり回収可能性が低下したため、固定資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の当第3四半期連結累計期間における計上額は、「道路関連事業」セグメント260,560千円、「レジャー事業」セグメント60,600千円であります。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2021年2月1日至2021年10月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	道路関連事業	レジャー事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	18,206,881	1,548,127	569,077	20,324,087	—	20,324,087
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	429,524	52,642	482,166	△482,166	—
計	18,206,881	1,977,651	621,720	20,806,254	△482,166	20,324,087
セグメント利益	3,064,022	67,222	364,500	3,495,745	△523,109	2,972,636

(注) 1 セグメント利益の調整額△523,109千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。